

作成日 2019年5月27日
改訂日 2024年12月6日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称

2-メチル-4'-メチルチオ-2-モルホリノプロピオフェノン、(2-Methyl-1-(4-methylthiophenyl)-2-morpholinopropan-1-one)

商品名

JRCure907

会社名

アーク株式会社

住所

大阪市中央区安土町3-5-13
本町ガーデンシティテラス3階

電話番号

06-6563-7710

FAX番号

06-6563-7720

推奨用途及び使用上の制限

光重合の開始剤、その他添加剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日

H21.3.27、政府向けGHS分類ガイダンス(H20.9.5版)を使用

物理化学的危険性

火薬類 分類対象外
可燃性・引火性ガス 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール 分類対象外
支燃性・酸化性ガス類 分類対象外
高压ガス 分類対象外
引火性液体 分類対象外
可燃性固体 分類できない
自己反応性化学品 分類対象外
自然発火性液体 分類対象外
自然発火性固体 分類できない
自己発熱性化学品 分類できない
水反応可燃性化学品 分類対象外
酸化性液体 分類対象外
酸化性固体 分類対象外
有機過酸化物 分類対象外
金属腐食性物質 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 分類できない
急性毒性(経皮) 分類できない
急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない
急性毒性(吸入:ミスト) 分類対象外
皮膚腐食性・刺激性 分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺 分類できない
呼吸器感作性 分類できない
皮膚感作性 分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない
発がん性 分類できない
生殖毒性 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 分類できない

環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性 水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 分類できない 分類できない
-----------	-------------------------------------	----------------------------

ラベル要素
絵表示又はシンボル
注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

【安全対策】
データなし
【応急措置】
データなし
【保管】
データなし
【廃棄】
データなし

国・地域情報

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名又は一般名

2-メチル-4'-メチルチオ-2-モリホリノプロピオフェノン

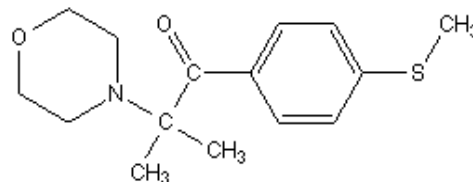
別名

2-メチル-1-(4-メチルチオフェニル)-2-モルホリノプロパン-1-オン、(2-Methyl-1-(4-methylthiophenyl)-2-morpholinopropan-1-one)

分子式(分子量)

C₁₅H₂₁NO₂S(279.40)

化学特性(示性式又は構造式)



CAS番号

71868-10-5

官報公示整理番号(化審法・安衛法)

化審法:(5)-5819
安衛法:8-(7)-737

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

データなし

濃度又は濃度範囲

100%

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。

飲み込んだ場合

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること口をすすぐこと。

予想される急性症状及び遅発性症状

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

データなし

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

棒状放水
熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。
激しく加熱すると燃焼する。
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および
緊急措置

全ての着火源を取り除く。

環境に対する注意事項

回収・中和
封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離す
関係者以外の立入りを禁止する。
密閉された場所に立入る前に換気する。
環境中に放出してはならない。
漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火
炎の禁止)。
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保
護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気
を行う。

安全取扱い注意事項

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
取扱い後はよく手を洗うこと。
飲み込みを避けること。
皮膚との接触を避けること。

保管

接触回避
技術的対策
混触危険物質
保管条件

データなし
特別に技術的対策は必要としない。
データなし
特に技術的対策は必要としない。
酸化剤から離して保管する。
冷所、換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉して保管すること。
データなし

容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく
露指標)

未設定

日本産衛学会(2007年版)
ACGIH(2007年版)

未設定
未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャ
ワーを設置すること。

保護具 呼吸器の保護具

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状 形状	固体
色	データなし
臭い	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	74~76°C : Chapman (2008)
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
燃焼性(固体、ガス)	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
比重(密度)	データなし
溶解度	データなし
オクタノール・水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性 経口	データなし
経皮	データなし
吸入	吸入(ガス): 常温で固体である。 吸入(蒸気): データなし 吸入(粉じん): データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	データなし
水生環境慢性有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報

航空規制情報

UN No.

Proper Shipping Name.

Class

国内規制 陸上規制情報

海上規制情報

航空規制情報

特別安全対策

IMOの規制に従う。

ICAO/IATAの規制に従う。

3077

Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.

9

該当しない

船舶安全法の規制に従う。

航空法の規制に従う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

15. 適用法令

船舶安全法

航空法

有害性物質

その他の有害物件

16. その他の情報

参考文献

各データ毎に記載した。